

2014年8月号 小島薬局漢方堂



# パンダ通信

ご愛顧ありがとうございます

## 夏の脳梗塞。麦味参と一緒に怖くない

8月になり夏本番!熱中症、夏バテ、クーラー病…など夏に怖い病気はたくさんあります。なかでも以前は冬に多いと考えられていた脳梗塞が、実は夏に多いことが日本脳卒中学会で報告されました。夏に多い理由は、汗によって体の必要な水分が奪われてしまう事にあります。血液の約70%は水分なので、体が水分不足になるという事はこの血液中の水分も減る事になります。これがいわゆる血のネバネバ状態を生み、血管内でつまりやすくなります。

汗をかくことは代謝の一貫なので必要ですが、だらだらと汗が出たり、止まらずにもれ出るようでは問題です。漢方では「汗は心の涙」といい、汗のかき過ぎは心の働きを弱めてしまい、動悸や息切れ、不眠などの症状になって現れます。それでは、ただ水を飲めばよいのでしょうか?

もちろん失った水分を摂ることは必要ですが、それだけでは不十分です。特にお年寄りや、もともと胃腸が弱い方が水を摂り過ぎると胃酸を薄めて消化不良や胃腸の働きが悪化する事もあります。また冷え性の方、むくみやすい方なども水分代謝が悪いので、たくさん飲むと加えて具合が悪くなってしまいます。体に水分を適切に保持する力があれば、摂った水分を効率よく使うことができ、血液がネバネバになるのを防げます。また水分の飲み過ぎや、胃腸を痛め、体を冷やし過ぎずにすみます。

この夏 オススメなのが「麦味参顆粒」です。麦味参は人参、五味子、麦門冬の3つの生薬が体の機能の回復を助け、水分保持力をつけることで血液の粘りを防ぎ、心臓の働きを守ってくれる働きがあります。さらに疲労倦怠、虚弱体質の改善または体力の回復に非常に効果的です。

この夏はどんなに暑くても麦味参と一緒に何も怖くないですね!



意外と知られていない!?



## 夏は脳梗塞と心筋梗塞に要注意!!

冬に多いと思われる脳梗塞と心筋梗塞は実は夏に一番多く発症しているという調査結果が発表されています。なぜ夏に多いのか……? 発症要因として「夏は血液が固まりやすい」ことが挙げられます。ジリジリと暑い夏は汗をかくことで体温調節を行っています。汗をかくと身体の水分が減少し脱水症状を防ぐため「水分を補給する」ことは今や常識です。しかし、その水分補給が正しく行われていないと、体内の水分が不足する⇒血液の粘度が上がる⇒血液がドロドロになる⇒血管が詰まりやすくなってしまふ、という状態になります。また、体内の熱を血液循環により体表部へ運び発散させようとするため心臓の働きも活発になり心臓に大きな負担がかかりやすくなります。

## 血液サラサラには「冠元顆粒」

中医学では血液が汚れている、ドロドロして流れにくい状態を“瘀血”といいます。脳梗塞、心筋梗塞だけでなく現代急増している生活習慣病（高血圧、高脂血症、肥満、糖尿病など）も“瘀血”によって引き起こされています。

『冠元顆粒』は“瘀血”を取り除き血液をサラサラにしてくれる“活血化瘀”の漢方薬です。強い活血化瘀作用のある「丹参」や活血力を補強する“川芎”“芍薬”“紅花”などからできています。血液がサラサラになることで脳梗塞や心筋梗塞の予防になるだけでなく、冷え、肩コリ、頭痛、生理痛の改善などにも幅広く活用できる漢方薬です。

水分を補給するだけでなく汗で出て行った“気”を補うことも大切です。身体に元気と潤いをチャージしてくれる『麦味参顆粒』を組み合わせればこの夏は血液サラサラ、夏バテ知らずで快適に過ごせます!!

同封の『麦味参顆粒サンプル券』を持ってきて下さった方には3包プレゼントいたしますので、ドシドシお持ちください^^